

「価値観を尊重する」という価値観

(原文)

平山 茜 (12 歳)

兵庫県

須磨学園中学校

価値観という言葉は日常生活でよく耳にします。皆さんも結婚するときなど、話を聞くことが多くあると思います。そもそも、価値観とは何でしょうか。それは、どんなことに価値を見出すのかといった感じ方のことです。今回の作文を書くにあたってまだ 12 歳の私は、価値観について深く考えることもなかったので考えがまとまらず、行き詰ってしまいましたが、母から勧められたあるテレビ番組を見て、価値観について自分の考えを持つことができました。

私が見たテレビ番組というのは、生まれた国も信じている宗教も違う 3 人の男性に密着したものでした。その番組では、男性たちがお互いの違いを気にせず、仲良く生活をしている様子が映されていました。例えば、食事については、ヒンドゥー教の人は牛、イスラム教の人は豚を食べることができませんが、彼らは皆が食べることができるインド料理屋に行くことでそのことを気にせずに食事ができるようにしていました。それを見て私は、信じている宗教が違っていても、方法次第では上手に関わることができるということを感じました。

確かに、外食はいつもインド料理、だど一人で食べる時より少しは制限がかかるように、みんなでいると不自由なこともあります。しかし、国や宗教を越えて様々な経験をすることができるというのは、多少の不自由より、大切なことなのではないでしょうか。自分の価値観だけでなく、相手の価値観をも尊重することでよい関係が築かれる。この番組を通して私は、価値観とはそれが異なっても互いに尊重することでより良い関係をつくることのできるものだということを知ることができました。

私にも、文化の違いを感じた経験はあります。それは、オーストラリアで初めてアリを食べた時のことです。アリを食べると聞いたときには驚きましたが、アリ塚に棒を差し込んでアリをとるのは楽しく、初めて食べたアリも美味しかったです。私は、この経験を通して、最初から価値観や文化を拒否するのではなく、興味をもつことで自分の視野を広げることができるという考えを持つことができるようになりました。

私が通っている学校では、研修旅行で様々な国に行きます。その時に、訪問している国の生活や文化を自分たちとは違う、と拒否するのではなく、その生活や文化のことを学び、価値観を尊重することで、自分の視野を広げることができると感じました。また、そうすることで、その研修がより充実したものになると考えました。

現在、世界の各地で争いが起こっています。争いの原因として、自分たちの価値観を相手に押し付けて優位に立とうとしていることが考えられます。世界中の人々が、自分の価値観だけを押し付け、優位に立とうとするのではなく、相手の文化に興味を持ち、自分の価値観を残しつつ、相手の価値観を尊重し、認めあうことで、争いを減らすことができるのではないのでしょうか。